

令和6年度バドミントン新人大会（個人戦） 競技上の注意事項

- ① 2回戦まで15点の得点制限があります。14点オール以後は2点先取、上限21点です。以降は、得点制限はありません。20点オール以後は2点先取、上限30点です。  
すべての試合において次の試合まで15分を空けます。
- ② 各試合のシャトルは1個、本部からの支給とします。後は各校の相対で補給をお願いします。  
シャトルの温度番号は「4番」です。
- ③ 各試合に際し、各校から線審を1名同行させてください。
- ④ 各試合前の練習時間は個人戦では行いません。各自で事前に準備運動、ウォーミングアップを行い、ケガをしないように注意してください。
- ⑤ 試合（マッチ）中の水分補給、汗ふきなどは必ず主審の許可を得てください。なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみとします。容器は倒れてもこぼれないフタ付ボトルを使用し、自分のバッグに入れてください。
- ⑥ 審判は各コートの1試合目は本部からの指定で行います。本部のコールをよく確認してください。  
2試合目以降からは前試合の敗者が主審兼サービスジャッジ、得点表示となります。  
ルールのおぼつかない1年生が審判をすることのないようにお願いします。  
ベスト8に残った学校は、順位決定戦があるので最後まで帰らずに待機しててください。  
また、ベスト16に残った学校は審判また代表決定戦がありますので、最後まで帰らない  
ください。

サービスジャッジは、ポストにコート面から1.15m高さのところにマークがありますので、そのマークを基準にコート面から1.15m高さのところに水平面をイメージし、判定してください。

- スコアボードは本部から運ばれますので敗者校はそのままコートに残り、搬入を待ってください。
- ⑦ 線審はアウトのコール、シグナルをきちんと行ってください。必ず大会出場者もしくは、ルール理解者が審判を行うようにしてください。
  - ⑧ 着席のうえ、拍手・声援は許可します。ただし、インターバル中の複数人で合わせた応援や歌などは禁止します。
  - ⑨ インターバル中、競技区域付近でのアドバイスは、監督・コーチなど同時に2名までです。
  - ⑩ 本大会は、2024年度 日本バドミントン協会競技規則に準じて進行します。  
サービスのフォルトはゲーム開始当初からとってください。  
ゲーム内、11点の際（得点制限中は8点）の60秒のインターバルを主審は必ずコールし、プレイヤーも確認してください。ゲーム間は120秒です。両者とも残り20秒でコートインをお願いします。  
ストップウォッチを必ず使用してください。遅れた場合はフォルトとなります。
  - ⑪ 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められません。もし判定に対し疑問がある場合には、次のサービスが為される前に「質問」をすることができます。ここで質問ができる者とは、個人戦では当該選手に限ります。必要な場合はレフェリーを呼んでください。
  - ⑫ サービスのフォルトはゲーム開始当初からとってください。  
以下のルール改正に伴い、スピンサーブはフォルトとなります。  
バドミントン競技規則 第9条 サービス 第1項（5）サーバーは、スピン（回転）を加えずにシャトルを放し、ラケットで最初にシャトルの台を打つものとする。